

# 白木原公民館の事務所移転・開館延期のお知らせ

白木原公民館は、平成29年8月25日から大規模改修のため、白木原集会所に事務所を移転していますが、工事期間の延長に伴い、公民館への事務所移転と公民館の開館を延期します。

## ●問い合わせ先

◇4月16日(月)まで  
白木原集会所  
〔白木原4・5・26〕  
☎(584)3422

◇4月18日(水)以降  
白木原公民館  
〔白木原1・5・5〕  
☎(571)4403

## ●延期後の日程

◇事務所移転日 4月18日(水)

※事務所移転作業に伴い、4月17日(火)は休館します。

◇公民館開館日 5月7日(月)

## ●工事についての問い合わせ先

ふるさとにぎわい課ふるさと施設担当  
☎(580)1876

# 芸術文化振興審議会の市民委員になりませんか

市の芸術文化の振興の基本理念や施策の方向性を明らかにし、体系的な施策展開を図るための「(仮称)大野城市芸術文化振興プラン」を策定するにあたり審議会委員を募集します。

## ●対象者

18歳以上の市民または市内事業所に勤務している人で、芸術文化について関心があり、会議に出席できる人(原則平日昼間の1、2カ月に1回程度)

※ほかの審議会などの委員会に3つ以上参加している人、公務員(議員、行政区長などを含む)の人は対象となりません。

## ●募集人員

2人(男女各1人)

## ●任期

委嘱の日から2年

## ●申込方法

◇送付◇FAX◇メール◇直接提出(所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ提出) ※応募用紙は市ホームページからダウンロードできます。

## ●申込期限

5月11日(金)(必着)

## ●申し込みと問い合わせ先

コミュニティ文化課文化政策担当  
☎(580)1910  
☎(572)8432

☒shakukai@city.onojo.fukuoka.jp

## あけてみよう！歴史のとびら 拾い歩き！大野城市の地名⑬

### ▲遺跡から見た大野城市の地名▼

大野城市内には水城跡・大野城跡・牛頸須恵器窯跡などたくさん遺跡や文化財があり、地名の由来となっているものもあります。

上大利にある小水城跡の近くには横堤よこつちという小字が残っています。この横堤という地名は、小水城跡の土塁が谷をふさぐように残っていることからつけられたと考えられます。

水城跡は、地元では土居とか土居の山と呼ばれていました。この水城跡に近いJR水城駅西側には、父子嶋てんこという小字が残っており、そこは道路より2mあまりも高くなっています。父子嶋の地名の由来については次のような民話があります。「水城を造る人の中に、大里おお(大利)の里に住む父子がいました。父子は来る日も来る日もモッコに土を入れ、土壘まで何度も往復して運んでいました。そうした厳しい労働の末、土壘ができたとの知らせを聞いた父子はかついでいた土を放り出し、その土が土饅頭のように盛り上がりましなりました。その場所を父子嶋というようになったと言ったことです。」

上大利5丁目周辺には、本堂という小字が残っています。「福岡県地理全誌」には、古蹟として「本堂寺。村ノ西南一町。小山ノ上ニアリ」と記されています。当時、本堂寺の建物はすでに無く、これは単なる伝説と思われていましたが、この周辺を発掘調査すると、奈良時代の寺院跡と平安時代のお堂の跡が見つかりました。このことから、本堂という地名の由来は奈良・平安時代にさかのぼると考えられるようになりました。

また、牛頸にはハセムシという小字があります。現在のつつじヶ丘団地周辺にあたり、ここではたくさん須恵器窯跡があり、発掘調査が行われました。このことから、須恵器すなわち土器を焼く山を土師はせむし燃し山と呼び、これがいつしかハセムシとなったのかもしれない。

地名には、地形や地質、土地の状況や歴史などが凝縮されています。地名の由来については、『大野城市史』民俗編・上巻などに書かれています。

## ●問い合わせ先

ふるさと文化財課啓発・整備担当(心のふるさと館内)  
☎(558)2206